

アジュール じんげん asile

春夏号
2017
大谷大学広報誌

地域の課題、社会への貢献。
「子どもたちの居場所を作りたい！」

地域の課題、社会への貢献。

「子どもたちの居場所を作りたい！」

入学前の自らの体験をもとに在学中にNPOを立ち上げて夢に向かった卒業生、

入学前から続くNPOとの関わりを軸に夢に向かう現役学生。

大学と活動の関わりについて、木越学長と共に語り合っていました。

充実した学生生活を送るための新しいアイデアやヒントが見えてくるかもしれません。

夢を実現するために奔走した学生生活

木越 蔵田さんが在学中に立ち上げられたNPO法人「寺子屋共育轍」の活動内容を教えてください。

蔵田 まず「子どもがおいてけぼりにならない社会へ」を理念に掲げ活動を行っています。寺子屋Tel.Tel.では、小学1〜6年生までを対象に、子どもたちで話し合い、ルールを決める子ども自治という方法で地域のお兄さんやお姉さんと同じ机で勉強したり、遊んだりして、共に過ごす空間を一緒に作っています。地域見守りプロジェクトでは、多くの人が使用できるインターネットを利用し、地域の方々が自然と見守り合える環境や、子どもたちの安全を守るためのネットワークを生み出す仕組みづくりを行っています。

木越 なるほど。現在は沖繩におられますが、沖繩に行かれたきっかけは何ですか？

蔵田 めざす寺子屋像が、沖繩の「太陽学童」という児童クラブにあり、一年間の予定で寺子屋を休業し、そこで沖繩特有の父母共同運営のあり方を学び、行政や地域資源との調整役としても日々実践させていただいています。

岡崎 素晴らしい行動力ですね。現在取り組まれている活動のなかにはどのような問題があるのですか？

蔵田 私たちがめざす「子どもがおいてけぼりにならない社会へ」の「おいてけぼり」には、孤独と孤立の2つの定義があり、孤独は心が感じるもので、孤立は物理的に生じるものです。集団のなかにいても孤独を感じたり、集団

から孤立していても、孤独を感じなかったりします。僕自身、集団のなかにいながらも孤独を感じ、育ちました。

木越 設立に至ったのは幼少期の経験からだったんですね。

蔵田 中学〜高校の頃、悩みがあり苦しんでいたのですが、家にも学校にも地域にも相談できる人がいませんでした。その時、救いとなったのが、お寺で小僧さんをさせてもらったり、住み込みで農業をするなかで、人と深く繋がりが、尊敬できる大人や、憧れるお兄さんと出会ったことでした。地域のなかにこういった場所や繋がりがあれば良いなと思っただけです。

岡崎 設立時、経費や運営方法は教授に相談したのですか？また、仲間は何人いたのですか？

蔵田 先生の研究室に通い詰めて、さまざまな団体を紹介していただき、3年生の頃はボランティアやインターンシップをしながら学びました。そこから、3人の仲間と理念を掲げ、団体を立ち上げました。初めの頃は、メンバーの弟の学校などで、定期的にものづくりワークショップをさせてもらっていました。

岡崎 定期的にワークショップなどを開催できると、生徒の顔をよく知ることができて良いですね。

蔵田 丁度、地域のなかで活動していたかと思っていた時に、授業で、新大宮商店街に学生が集まり、地域活動をする拠点があることを知りました。その商店街で毎月開催されている宵の市というイベントで、ものづくりワークショップをさせていただいたのが、寺子屋の活動を深めるきっかけとなりました。



大谷大学 学長 **木越 康** Yasushi Kigoshi
 専門分野／真宗学・宗教学。1985年大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻修士課程入学。1990年大谷大学大学院博士後期課程満期退学（真宗学専攻）。1994年私学研修福祉社会国内研修終了。大谷大学短期大学部准教授、大谷大学文学部准教授、同大学教授を歴任し、2016年4月より第28代学長。

ました。

木越 そこでは子どもが通う学童の学生版みたいなものをされたのですか？

蔵田 はい。ワークショップで出会った子どもたちの保護者から、宿題をしに通える場所がほしいという声をいただいたことから、子どもたちと年の近い大学生が同じ机を囲み、先生が教えるという関係性ではなく、共に育ちあう「共育」を行っていました。

卒業生からのアドバイス

木越 岡崎さんは将来、何をめざしていますか？

岡崎 私は将来、地方公務員になって市役所で働き、まち作りをおして子どもたちの居場所を作りたいと考えています。

木越 何がそう思うきっかけとなったのですか？

岡崎 小学4年生の頃から参加しているNPO法人の活動です。高校生からは法人のスタッフになり、おのずと子どもたちの居場所を作りたいと考えるようになりました。蔵田さん、学生生活を振り返り、勉強や活動について何か印



象に残ったことはありませんか。

蔵田 そうですね。私は社会学科の社会福祉学コースではなかったのですが、福祉の授業を率先して受講していました。「障がい個人が持つものではなく、相手を知らないことによって生じる壁が障がいなのであって、人と人との間にあるものだよ」と教わったことは今でも大切な視点として、活動のなかに活かしています。

コミュ・ラボの体験から 広がる視野

木越 蔵田さんの在学時にはなかったけれど、地域活動を学生たちが主体的にできるようにバックアップする地域連携室（コミュ・ラボ）というのが設置されました。岡崎さんは、そのことに関わりがありますか？

岡崎 はい。私のコースの先生方が地域連携室と関わっているのです、よく先生について行っています。

木越 具体的にどういうことをしているのですか？

岡崎 新大宮商店街の人たちを授業やラジオにゲストとして迎え、商店街に來たきっかけや、何をしているのかを

聞いています。

蔵田 私が学生の時は学外で大谷大学の名前をあまり聞くことはありませんでしたが、最近はよく聞くようになってきたので、嬉しく思います。

木越 頑張らないと。

岡崎 はい。頑張ります！

木越 蔵田さんは孤独、岡崎さんは居場所、二人とも体験をとおして、本当に大切な課題を見つけたんですね。そこからNPOの立ち上げや公務員をめざすパワーが生まれた。大谷大学、特にコミュ・ラボは、そんな学生の夢を叶える応援ができる場でありたいですね。

蔵田 コミュ・ラボや新校舎も素敵で僕もここで学びたかった。

岡崎 新校舎すごく良いですよ。

木越 蔵田さんのような開拓者みたいな学生が生まれたから、コミュ・ラボもできたんですよ。

蔵田 外に学びに出る機会や、さまざまな人に出会える環境で、これから学生の皆さんが何を学んで、何を行っていくのか楽しみです。また、特別な活動を行うだけでなく、人に伝えるということも大切だと思っています。自分のなかの放っておけないセンサーを大切に学んでほしいです。



蔵田 翔 Sho Kurata
2012年3月 社会学科卒業
NPO法人 寺子屋共育 轍 代表理事



岡崎 陽里 Akari Okazaki
社会学科 第3学年

私たちの キャンパス紹介



→ 本部キャンパス総合整備計画の詳しい情報は… <http://www.otani.ac.jp/buildup>

新入生へのメッセージ

さまざまな知識を得て、
自己の成長に繋げよう。

大谷大学では、自分が専攻している学科だけではなく、他に興味のある学科の分野も主体的に学ぶことができます。自学科の知識だけでなく、他学科の知識を得ることで、自己の成長に繋がると思うので、皆さんも興味のあることは主体的に学び、素敵な大学生活を送ってください。



西口 綾乃
(哲学科 第3学年)

新入生へのメッセージ

積極的に、
まずはなんでもやってみよう。

大学では自分の意欲次第で好きなだけ学びを深めることができます。図書館や総合研究室で資料を集めたり、先輩や先生に直接話を聞きに行くなど方法はたくさんあるので、利用できるものは積極的に利用していきましょう。また、勉強だけでなくサークル活動やクラブ活動、ボランティア活動などにも取り組んでいろいろな経験をすれば、素晴らしい大学生活になるはずです！



木津 希
(真宗学科 第3学年)

キャンパス カレンダー

4月

- 入学式・オリエンテーション
- 前期授業開始
- Web聴講登録
- 若葉祭

5月

- 宗祖誕生会

6月

- 「卒業論文」
- 「卒業研究」
- 題目届提出

7月

- 前期定期試験

8月

- 夏期休暇



オープンキャンパスの様子



慶間館マルチスペースでの様子



4月のキャンパス風景



入学式の様子

1F 1913年に竣工され、2013年に100周年を迎えました。赤レンガの外装が特徴のシンボリック建物です。2階の尋源講堂では、朝の動行が行われています。

1F 保健室・学生相談室・人権センター

学生生活における不安や心身の健康、人権に関する相談窓口が集まっています。何か不安があれば、独りて悩まず気軽に訪ねてください。

1F 博物館

真宗学・仏教学・哲学・歴史学・文学など、多分野にわたる資料を所蔵する博物館です。定期的に企画展や特別展を開催しています。

B1F 2F 図書館

現在、蔵書数は約84万冊、閲覧室には約10万冊の図書が並んでいます。特に仏教関係の図書や資料が充実しています。自動貸出機も備えています。2階のカウンターではノートパソコンを貸出し、レポート作成や情報収集に活用することができます。

3F 総合研究室

研究に必要な図書を自由に閲覧することができます。また、任期制助教が勤務し、研究についての適切な助言を得ることができます。

B1F 購買部 (セブーンイレブン)

谷大グッズや大学生活で必要な文房具などを購入することができます。

B1F 学内書店 (文栄堂)

教科書や辞書をはじめ、レポート・卒業論文などに必要な大谷大学論文用紙を販売しています。

4号館

1F 教職支援センター

教員免許の取得や教育実習について相談のつてくれる頼れるアドバイザーがいます。教員採用試

験に関する資料も多く、パソコンも使用できるので教員をめざしたい方はぜひ利用してください。

部室棟

部室棟には各クラブの部室が一同に集まっています。気になるクラブがあれば、学生手帳に部室の場所が載っているので、どんなに訪ねてみてください！

1F 慶聞館

1階中央の学生ロビー「ミナイール・プラザ」には学内カフェが併設され、その周囲には学生支援部事務室をはじめ、学習支援室、語学学習支援室、文藝塾などさまざまなサポートセンターを配置しています。また3階には情報系教室、5階には教員の個人研究室も配置しています。2018年3月末には竣工を迎え、2018年4月にグランドオープンを迎えます。

1F 教務課・学生支援課・キャリアセンター

大学内の職員室のような場所です。奨学金のことや試験のことわからないことがあった時など、困った時には学生支援部へ。

1F 語学学習支援室 (GLOBAL SQUARE)

留学や語学学習、留学生との交流に興味のある学生をサポートする部屋です。留学説明会や勉強会、留学生との交流イベントなどを実施しています。

1F 学習支援室 (ラーニング・スクエア)

授業や試験のための学習方法や課題の作成方法などの相談ができる。大学での学びをサポートする部屋です。

PICK UP!!

慶聞館1F学生ロビー

学生ロビーの愛称決定!!

ミナイール・プラザ 鷲尾 諒 (文学部仏教学科第2学年)

愛称の由来

ミナイールという言葉は、誰もが見てわかるとおり『みんながいる』をベースにしています。これは慶聞館を利用して感じた、たくさんの方が憩っている広場というそのままでの印象です。そのうえで、『みんな』を『ミナ』にしたのは、ミナ (ミナ) という言葉がフィンランド語で『私』を意味するからです。ミナという言葉にロビーに集う大勢の『皆』という意味と、その大勢のなかの私 (ミナ) という両方の意味を込めてみました。

皆がいる、そしてそのなかに私 (ミナ) がいる、そんな広場 (ロビー) だという印象から、ミナイール・プラザを提案させて頂きました。

鷲尾さんからのコメント

「ミナイール・プラザ」が愛称として選ばれたことはとても光栄です。私自身もミナイール・プラザを頻りに利用していますが、大勢の学生が集まる、この愛称に込めた意味とおりの場所になっていると思います。今後、学生たちが集い、憩い、互いのつながりを感じられるような場所であり続けてほしいと願っています。



9月

集中講義

後期授業開始

Web聴講登録修正

10月

開学記念日

11月

学園祭「紫明祭」

大学報恩講

「卒業研究」提出 (仏教科・幼児教育保育科)

12月

冬期休暇

1月

「卒業論文」提出

後期定期試験

卒業論文口述試問

3月

卒業証書・学位記授与式



卒業式の様子



1月のキャンパス風景



12月のキャンパス風景



学園祭の様子



開学記念式典の様子

Pick UP! クラブ活動



好きなことに、
思いきり夢中になってみよう。

心から夢中になれることって、そんなにない。

だから見つかったら、納得のいくまで追求してみよう。

学生時代は、そんな気持ちを大切に育て、

たくさんの友達と共有できる時。

「好き」ということに、とことんこだわると、

あなたの人生はきっと豊かになる。

書道部

部員数：16名（男9名・女7名）
活動日：週2回（木・土曜）
顧問名：大森 一浩

私たち書道部は、6月に渉成園で行われる学外展と、学園祭での学内展を目標に日々練習に励んでいます。国の名勝として知られる渉成園では、落ち着いた雰囲気を出せるよう、また、学内展では学園祭の楽しさをさらに盛り上げるような作品を作りたいと考えています。

週に2回、技術顧問の先生に練習を見ていただいているので、初心者でもしっかり学ぶことができます。書道に少しでも興味がある方は、ぜひ部室までお越しください。

主な年間スケジュール

- 4月 若葉祭
- 6月 学外展

- 7月 学内展（朱明展）
- 11月 紫明祭（学内展）

映画研究部

部員数：49名（男29名・女20名）
活動日：週1回（火曜）
顧問名：田中 久美子

私たち映画研究部は、監督・脚本・カメラマン・演者・編集などを自分たちで担当し、短編映画の自主製作・上映を中心に活動しています。

湖西キャンパスや合宿先で撮影したものは、大谷大学のイベント「若葉祭」や「紫明祭」で上映しています。

不定期ではありますが、邦画や洋画を部室で上映したり、人文情報学科が主催するプロジェクトに映像スタッフとして参加することもあります。

映画研究部では、自分の得意なことを伸ばしながら、クリエイティブな活動ができます。

主な年間スケジュール

- 4月 若葉祭
- 5月 新入生歓迎会
- 6月 合宿

- 7月 スポーツ大会
- 9月 合宿
- 11月 紫明祭

- 2月 合宿
- 3月 卒業コンパ



2016年度秋季大会等結果

※学生の学年は、大会時のものです。

卓球部 平成28年度 関西学生卓球秋季リーグ戦 男子 4部Bブロック5位/女子 4部Aブロック4位 開催日: 2016/9/7~9/16	硬式野球部 平成28年度 京滋大学野球連盟秋季リーグ戦 I部6位 第7回京都新聞社杯 滋賀県社会人・大学野球交流大会 開催日: 2016/9/3~10/20 開催日: 2016/11/3~11/5 2位
サッカー部 関西学生サッカーリーグ(後期) 3部チャレンジリーグ6位(入替戦進出) 開催日: 2016/9/18~11/12	バスケットボール部 平成28年度 関西学生バスケットボールリーグ戦 6部1位(5部昇格) 最優秀選手賞 石野 雅人/社会学科第4学年 開催日: 2016/8/27~10/9
ソフトテニス部 秋季リーグ戦 男子 6部5位/女子 7部1位(6部昇格) 開催日: 2016/9/11~9/17	バレーボール部 平成28年度 関西大学バレーボール連盟秋季リーグ戦 男子 6部Cブロック3位タイ/女子 6部Bブロック13位 開催日: 2016/9/11~10/2
バドミントン部 平成28年度 関西学生バドミントン秋季リーグ戦大会 男子 6部Bブロック1位(5部昇格) 平成28年度 関西学生バドミントン新人戦大会 シングルス ベスト8 鈴木 湧生/真宗学科第2学年 ベスト16 福本 翔一/教育・心理学科第1学年 亀井 弘晶/人文情報学科第2学年 開催日: 2016/9/11~9/29 開催日: 2016/11/8~11/18	アメリカ民謡研究部 第39回 箱根ブルーグラスフェスティバル 第3・4学年バンド「uni'on top」が人気投票2位 開催日: 2016/8/26~8/28



バドミントン部には、経験者だけでなく、初心者の方も入部しています。大学でもバドミントンを続けたい人ももちろん、新しく何かを始めたいと思っている人でも大歓迎です。ぜひ一度練習にお越しください。

私たちバドミントン部は、週に3回体育館2階のアリーナで練習しています。年に数回ある個人戦で結果を残すのはもちろん、京都のリーグ戦(春・秋開催)や関西のリーグ戦(春・秋開催)で昇格できるように、限られた時間のなかで部員全員が協力し合って練習しています。

部員数...29名(男22名・女7名)
 所属団体...京都学生バドミントン連盟
 関西学生バドミントン連盟
 活動日...週3回(火・木・土曜)
 活動場所...大谷大学本部キャンパス体育館
 顧問名...井上 尚美

バドミントン部

主な年間スケジュール

- 4月 若葉祭
- 8月 夏合宿
- 11月 紫明祭
- 2月 追い出しコンパ(上旬) 春合宿(下旬)
- 3月 OB会



先輩が後輩に指導するなど、第1~4学年との交流が多い同好会となっております。また、男女とも仲が良く活気ある同好会です。経験者はもちろん、初心者の方も大歓迎です。私たちと一緒に楽しく活動しましょう!!

私たちダンス同好会は、4月に開催される新入生歓迎イベント「若葉祭」と11月に開催される学園祭「紫明祭」に向けて、日々活動しています。月々金曜日の16時半~18時まで、毎日練習しています。ダンスの種類はさまざまあり、主にストリートダンスをしています。

部員数...44名(男19名・女25名)
 活動日...週5回(月~金曜)
 顧問名...李 青

ダンス同好会

主な年間スケジュール

- 4月 若葉祭
- 5月 新入生歓迎会
- 8月 夏合宿
- 11月 紫明祭
- 2月 冬合宿
- 3月 全回生コンパ

自らの人生を切り開いていけるよう、キャリアセンターを大いに活用しよう。



就職環境について

2016年3月卒業・修了者の就職活動は、経団連の「採用選考に関する指針」により、企業の広報活動が卒業前年度の3月1日から開始されました。選考開始日は8月1日から6月1日へ2カ月前倒しとなり、広報開始から選考開始までの期間が2カ月短縮されて行われました。

広報活動開始日の3月1日には、大手企業や中堅・中小企業も一齐に広報（採用）活動が開始され、合同説明会から会社説明会、エントリーシートの提出などのプロセスが短期間に集中することとなりました。

このようななかで、就職活動のスタートの波に乗れた学生は早い段階で内定を得ることができました。一方、準備不足などによって出遅れた学生は、活動が長期化するなど苦労することとなりました。しかし、企業側の高い採用意欲もあり、多くの求人があったことから、高い内定率を維持することができました。

今年度も、企業の採用意欲は高く学生の売り手市場の傾向はありますが、世界情勢の変動による就職環境の変化などの不安はぬぐえません。油断せず、しっかりと準備し、活動することが重要です。

今後、就職環境の変化や経済情勢などの外的要因に左右されることなく、自分らしさを発揮し社会で主体的に生きていくためには、まず自らを知り、人間力を高めることが大切です。そのためには、入学後のできるだけ早い段階で、①将来

の目標を定めるなどの人生設計（キャリアデザイン）を行うこと、②社会で求められる力（チームで働く力、前に踏み出す力、考え抜く力）を身につけることを意識し、実践する必要があります。学業だけでなく、クラブ・サークル活動やボランティア活動、趣味などに有効に時間を使い、さまざまな経験から視野を広げ、学生生活を充実させることが大切です。

キャリアセンターを活用しよう

キャリアセンターでは、卒業後の進路について、個別面談をはじめ、さまざまな支援を行っています。

特に就職に関する支援においては、求人情報や企業情報、過去の採用試験情報などを提供するとともに、左ページのとおりに、さまざまな就職支援企画を実施しています。

そのほか、大学院への進学や短期大学部からの編入学などについての相談にも応じています。

自分のキャリアデザインを実現できるよう、学年を問わず、キャリアセンターを大いに活用してください。

進路・就職システム 「大谷大学就職ナビ」

本学では、進路・就職システム「大谷大学就職ナビ」（進路希望登録が必要）を運用し、大学に届く求人情報、企業情報を提供しています。これらの情報は、

学内外のパソコンだけでなく、携帯電話、スマートフォンからも閲覧できます。また、本システムのメール機能を活用し、ガイダンスや講習など各種支援企画のお知らせを配信しています。

就職支援企画

① 個別相談・模擬面接の実施

キャリアセンターの職員やキャリアアドバイザーが進路に関する相談に応じるほか、就職に関する応募書類（履歴書・エントリーシート）の作成補助・点検や模擬面接など、学生一人ひとりに応じた支援を行っています。

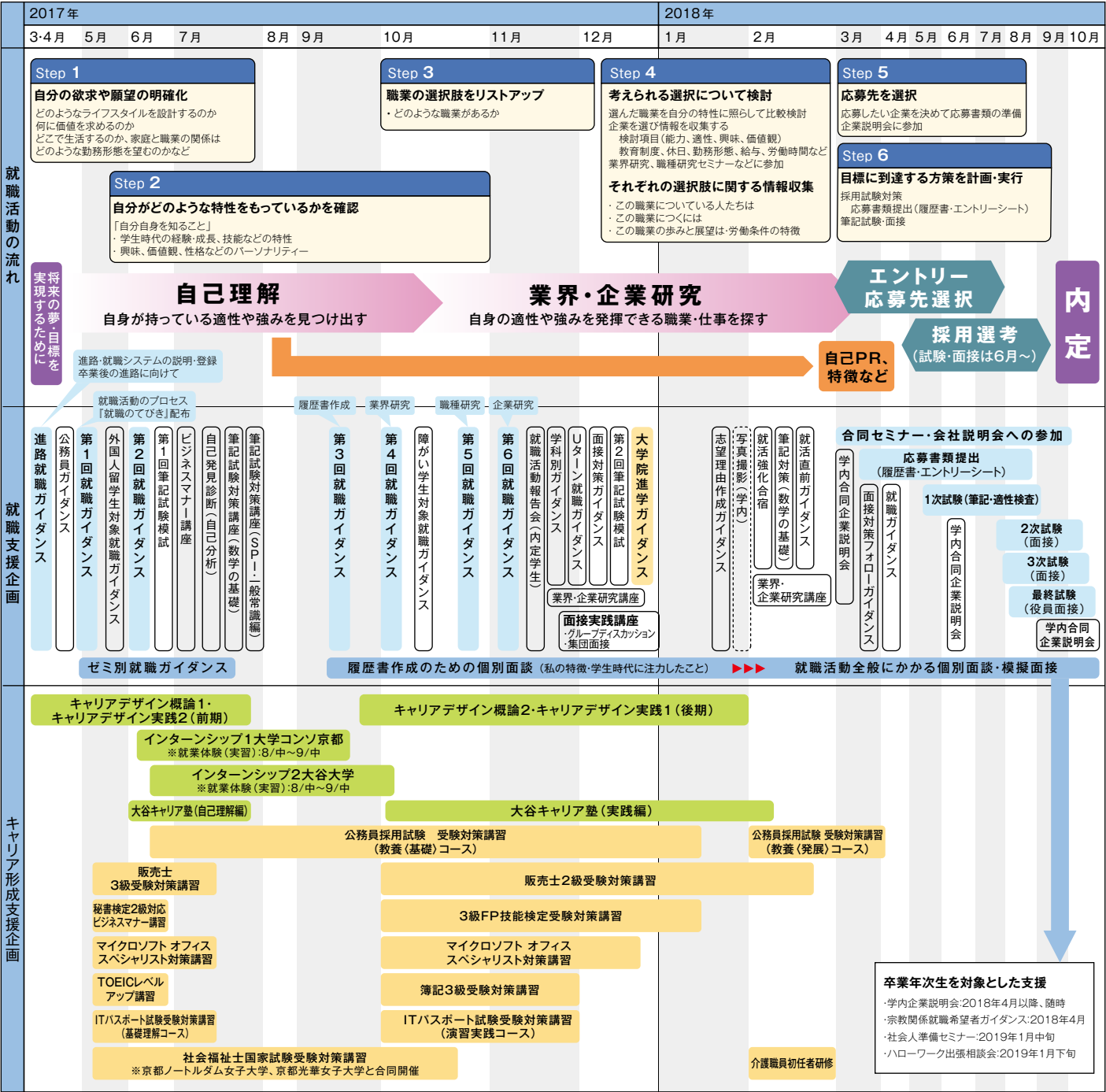
② 就職ガイダンスや各種対策講座の実施

卒業後の進路や就職活動に対する理解を深めるとともに、就職活動に必要な力、マナーを身につけるためのガイダンスや実践講座を実施しています。

キャリア形成支援企画の実施

卒業後の人生設計を考えながら、目標をもって学生生活を送り、社会人・職業人として必要な意識や職業観を身につけるためにインターンシップ（正課科目）、各種資格試験対策講習などのキャリア形成支援企画を提供しています。

就職活動プロセス (2019年3月卒業・修了予定者)



※教員(幼稚園、小学校、中学校、高等学校・保育士)をめざす学生の就職活動プロセスは、対象となるガイダンスでお知らせします。

就職活動体験記

選考を受ける企業ごとに採用試験の期間が異なる点から、私はキャリアアセンターが実施する面接実践講座(集団面接やグループワーク)、就活強化合宿などに積極的に参加し、さまざまな企業に対応できるよう早期に準備をしました。

就職活動を行うなかで、私は何度も失敗を経験しました。その度に必ずキャリアアセンターへ相談に行きました。その際に「次はこうした方がいいよ」や「なぜそうしたのかと過去を遡るより、次はそれを改善して行く」というアドバイスを受けました。そのことから、現状の問題を発見し、改善して行く姿勢が大事だと学びました。

また、興味を持つことが大事であると思いました。自分から興味を持たなければ今までの景色と何ら変わりません。しかし、好奇心を持って、面白いと感じたことや、やりたいことを増やしていけば、自分の道が開けていくのだと気づかされました。



2017年3月
文学科卒業
服部 航平
内定先: 株式会社イセト

キャンパストピックス

2016年11月11日(金)

親鸞エッセイコンテスト

「人間ってなんだろう?」受賞作品決定

2016年11月11日(金)、中・高校生を対象とした親鸞エッセイコンテスト「人間ってなんだろう?」の受賞作品が決定しました。

今回のコンテストでは、高校生部門2400通、中学生部門482通、合計2882通の応募がありました。

そのなかから高校生部門は1名が最優秀賞、2名が優秀賞、3名が奨励賞となり、中学生部門は1名が最優秀賞、1名が優秀賞、1名が奨励賞となりました。

里雄康意前宗務総長からは「人間とは何かという主題はたやすく解の得られない問いであるが、どの応募作品も自らの日常生活をふまえて真摯に向かう姿勢が表現されており、甲乙つけがたい内容であると評し得る。とりわけ、最優秀賞をはじめとする受賞作は、家族や友人など身近な人々と自らの関係のなかに、感謝や思いやりの心情をまっすぐ表現することによって、ともすれば理知的に捉えられがちな主題を感性に昇華している点が特筆に値すると言えよう。今回の取り組みが、これからも各々の進む道において誠実さをもたらすきっかけの一つとなれば幸いです」と総評をいただきました。

木越康学長からは最優秀賞受賞作品に対し「『人間ってなんだろう?』という答えのない問いに、それぞれの経験から思索した『人間』が表現されていて、どれもが刺激的で素敵

な作品でした。そのなかから高校生部門の最優秀賞受賞作品には、人間の『ぬくもり』と『優しさ』、そしてその『優しさ』からまた新たな『優しさ』が生まれるという人間の不思議が描かれています。また中学生部門の最優秀賞受賞作品には、『障がい』をめぐる身近な経験から、『普通』とは何ですか?』という、たいへん厳しい問いかけをもらったような気がします。『人間ってなんだろう?』。一番身近であるはずの人間が、実は一番わからない。そんなことを感じさせる、両作品だったと思います」と講評をいただきました。

今回も全国各地からご応募いただき、ありがとうございました。



2016年10月13日(木)

2016年度 雲井奨学金奨学生 証書授与式を実施

雲井奨学金は、雲井昭善名誉教授からの寄付金を財源とし、大谷大学での学びに強い意欲をもちながら、経済的事情により修学が困難な学生に対して給付されるものです。

2016年度は7名の学生が奨学生として採用され、尋源講堂で行われた授与式では奨学生証書と記念品が授与されました。記念品には、奨学生に向けた雲井名誉教授の言葉を記した色紙が贈られました。箕浦暁雄学生部長は「色紙にかかれた『勇猛精進(ゆうみょうしょうじん)』という言葉は、仏教用語で『勇気をもって仏道を歩む』という意味です。

授業についても同じだと思えます。奨学生に対する雲井先生の願いを心に刻み、ますます学業に励むとともに、人生において自身が生涯をかけて明らかにしたいけない課題に取り組んでいくってください」と奨学生に語られました。

雲井奨学金は、今年度も募集を行う予定です。出願資格のある方は、学生支援課で募集要項を確認のうえ、積極的に申し込みください。



2017年1月20日(金)～31日(火)

1000円朝定食

〈定期試験応援フェア〉実施

大谷大学学内食堂では、学生の健康を願う保護者の声により、1月20日(金)～31日(火)の期間に「1000円朝定食〈定期試験応援フェア〉」を開催しました。

大谷大学学内食堂は、大谷大学教育後援会・大谷大学同窓会・大谷大学からの補助により、安価に食事を提供しています。今回の応援フェアは、さらに学内食堂の運営を委託している「エムサービス株式会社」の協力を得ることにより、1000円で充実した朝食を提供できました。



和食・洋食のどちらかを選択でき、和食のごはん・味噌汁、洋食のスープはかわり自由でした。ハンバーグやナポリタンスパゲッティ、カレーにサラダ、デザートまで日によってさまざまなメニューを楽しむことができました。

2016年9月17日(土)～18日(日)

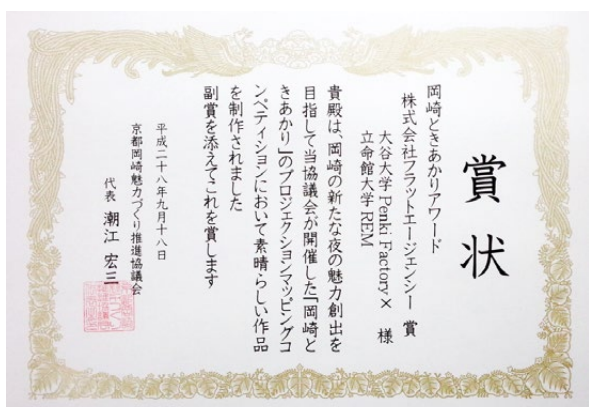
人文情報学科学生有志「Penki Factory」が プロジェクトシオンマッピングで受賞

2016年9月17日(土)、18日(日)に岡崎公園内の京都市美術館を会場に開催された「岡崎ときあかり2016」の「岡崎ときあかりワード」に、本学から人文情報学科の有志学生で作られた「Penki Factory」(倉光延行プロデュース)が出場し、プロジェクトシオンマッピングの作品で「株式会社フラットエージェンシー賞」を受賞しました。

Penki Factoryは今回が4回目の出場となり、立命館大学のREMチームと共同制作した「sometime, somewhere」という作品で初の受賞となりました。「岡崎ときあかりワード」には芸術系大学や一般企業のほか、今回は海外からの参加もあり、

年々レベルが高くなっているそうです。

今回の受賞にあたり、Penki Factory代表の森田友樹(人文情報学科第3学年)さんは、「開催当日は、各チームが思考錯誤を重ねた、すばらしい作品が上映され、感動しました。自分ならこうしたい、自分ならどこまで出来るのかと、さらに挑戦したいという意欲も湧き、来年もぜひとも岡崎ときあかりプロジェクトシオンマッピングに参加したいと思います!!」と喜びを語ってくれました。今回の受賞作品「sometime, somewhere」の動画は大学ホームページでご覧いただけます。



※キャンパストビックスの学年表記については2016年度のものです。

2017年度前期博物館開館予定

春季企画展

2017年4月1日(土)～5月20日(土)

大谷大学のあゆみ

歴代学長の肖像 - 明治・大正・昭和 -

夏季企画展

2017年6月13日(火)～7月29日(土)

古文書が語る人々の暮らし

秋季企画展

2017年9月5日(火)～9月23日(土)

大谷大学博物館の逸品

重要文化財『三教指帰注集』『高野雑筆集』

実習生展併催

2017年度イベント予定

2017年4月5日(水)～8日(土)

新入生歓迎イベント・若葉祭

新入生の皆さんに、4月から充実した学生生活を送ってほしいという願いを込めて、4月5日(水)～8日(土)に、さまざまなイベントを新入生歓迎実行委員会が企画しています。

特に、4月8日(土)に開催する若葉祭では、学内各所で、クラブ・サークル紹介やパフォーマンス、ライブなどで盛り上がります。ぜひご参加ください。



キャンパストピックス

2017年3月4日(土)

北区民ふれあい事業 ニニコニコ北っ子 「北区こどものまち」を本学4・5号館で開催

2017年3月4日(土)、京都市北区役所、北区未来につながる区民会議が主催する「北区こどものまち」が本学4・5号館で開催されました。

「北区こどものまち」とは、仮想の「まち」を舞台に、子ども自身から「こんなお店があったら」「こんな便利な仕組みがあったら」などの自由な発想で仕事をして給料をもらい、そのお給料で買い物をして、楽しみながら社会の仕組みを体験することを目的としたイベントです。

このイベントの企画内容は、北区の小学校に通う児童45名で構成する「こどもスタッフ」による「こどもスタッフ会議」で検討が重ねられ、本学からは教育・心理学科の岩渕ゼミの学生7名(第3学年)が、運営のサポート役として参加しました。

イベント当日は、北区在住または通学中の小・中学生を対象に事前募集した約200名が「こども区民」として参加されました。「まち開き」として、松本北区長、岩渕教授、こども区長らによるテープカットで始まり、銀行やデパートなど20の店が賑わっていました。大人のための「見学ツアー」の案内役で、小学6年生のこどもスタッフは、「とてもやりがいを感じます。ツアーの時間なので、行ってきます！」と元氣よく答

えてくれました。

イベント終了後、本学の学生スタッフで小学校教諭をめざしている井上恵介さんは「今日は時間が経つにつれて、子どもたちへのアドバイスが要らなくなったほど、自ら積極的に行動している姿を見て、とても感心しました。こどもスタッフ会議の時から、子どもへのアドバイスをすぐく勉強になりました」と話してくれました。



2017年2月11日(土)

大谷大学真宗総合研究所東京分室主催 第1回「宗教と人間」研究会を開催

2016年4月に開所した真宗総合研究所東京分室における研究活動として、各PD研究員の個人研究のほか、東京分室長とPD研究員による共同研究「宗教的言語の受容/形成についての総合的研究―哲学的・宗教学的・人類学的視点から―」を行っています。

今般研究活動の一環として、第1回「宗教と人間」研究会を開催しました。民藝運動の創始者として名高い柳宗悦が宗教哲学者としての顔も同時に持ち合わせていることはしばしば忘れられています。柳は宗教哲学者として民藝にいかなる宗教性を見出し、民藝理論においていかなる宗教論を展開したのか、それらの問題を明らかにするため、今回の研究会では、柳宗悦の思想に深く精通する若松英輔氏(批評家)と大沢啓徳氏(早稲田大学非常勤講師)を講師としてお招きしました。

当日は、事前に申し込みいただいた一般参加者を中心に、東京分室関係者も加わり盛況でした。文学を主な専門分野とされる若松氏からは「宗教哲学者・柳宗悦」、実存哲学者ヤスパースなどについて研究されている大沢氏からは「民藝理論における宗教性」というタイトルでお話ししていただきました。その後、お二人による対談が行われ、それぞれ

の視点から興味深い議論が交わされました。また最後には質疑応答の時間も設けられましたが、特に東京分室の共同研究テーマとも直接かわる「ことば」の問題、柳にとつての「ことば」とは如何なるものであつたのかについて、お二人の考えを聞くことができ、今後の研究活動を進めていくうえでたいへん有意義な機会となりました。



Our teacher

私たちの先生

イギリス文化の学びから、社会で通じる伝達能力の基礎の構築をはかる



国際文化学科 准教授
三浦 誉史加

パーミンガム大学シェイクスピア研究所修士課程修了。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程（英文学専攻）修了。文学博士。大谷大学任期制助手、梅光学院大学専任講師を経て、2011年に大谷大学文学部兼任。専門／英文学、英米文化



世界に対する影響力の大きさから、アメリカ文化への憧れが英米分野に興味を持つ動機となる学生は少なくありません。しかし、遠い文化のようには見えて、実は知らないうちに触れているのがイギリス文化。『ハリー・ポッター』やアフタヌーンティーに加え、卒論のテーマにヴィクトリア朝のイギリスを選ぶ学生が多いのは、この時代の社会制度を日本が取り入れたことも理由の一つでしょう。イギリスのEU離脱が日本に及ぼす影響をテーマに取り上げたことをきっかけに、イギリス文化への関心を深める学生もいます。

意外とつながりのあるイギリスと日本。このつながりを意識しつつ、日本との比較考察を加え、イギリス文化とは何かを研究するのが三浦ゼミです。

そんな三浦ゼミでは、イギリス文

化を教えるだけでなく、卒業後を見据えた授業づくりをしています。今まで関わることのなかった人々と接するとき、自分の考えや、企画などを的確に伝える能力が不可欠となります。その能力の基礎が学べるよう、レポートや論文作成に力を入れています。

三浦先生自身、留学時代の、論文作成で厳しい経験をされたことが、大きな成長につながったと言います。この経験から、学生にレポートを課す際は、一度厳しく添削を加え、再度考察を深めるよう求めます。

そういった厳しさの反面、冗談も言い合えるほどアットホームな雰囲気、学生も楽しく授業を受けています。

厳しさとお姉さんのような存在です。



紹介してくれた国際文化学科・三浦ゼミ（第4学年）
※学年表記については、2016年度のもので

先生から学生たちへのメッセージ

イギリスの雑誌から自分たちで広告を選び、その広告から読み取れるイギリス社会を考察してもらったときのこと。学生の一人が「先生、うち妄想力ついたわ!」と言いました。

学生の言う「妄想」とは、実は「仮説」です。同じ広告でも、学生によって着眼点はさまざまです。広告という一次資料が何を意味するのか自分で考え、自分自身の答えを導き出すとき、その学生は、単に書籍を読んで要約すること、人の書いた本のなかに模範解答を見出して満足することから一歩踏み出しています。

仮説を検証し、確かな論拠を提示して自分の意見を伝えるならば、それは「妄想」ではなく、説得力をもって相手を動かす力を持つでしょう。そのとき、「妄想力」は「発想力」となり、根拠に裏打ちされたオリジナリティとなり、自分自身の強みとなります。

「妄想力」は、誰にルールを敷かれたのでもない自分自身の人生を歩む力となり、周囲の人々や社会に働きかける力となる可能性を秘めているのではないのでしょうか。



ライフ Life

ENJOY!



アフタースクールをもっと楽しもう!

今回は、開店から40年変わらない味を提供されている手打ちうどんと手打ちそばの「綱道」をご紹介します。

ぜひお友達と一緒に行ってみてね!

店主こだわりの、讃岐うどんと出雲そば



ゆったりとした時間を過ごせるお店

綱道さんはもともと東本願寺の側にお店があり、10年ほどされてから、現在の北大路に移られたそうです。店内には、藤舎名生さんの横笛のBGMが流れとても落ち着いた雰囲気、20名分の席が用意されています。この席数は、店主こだわりの讃岐うどんと出雲そばを一人前ずつ湯がいて、出来たての一番美味しい状態で食べられることに適したものだそうです。

メニューには季節限定料理も用意されていて、四季をとおして楽しむことができます。



おまちとうさん。

待ってました〜!!

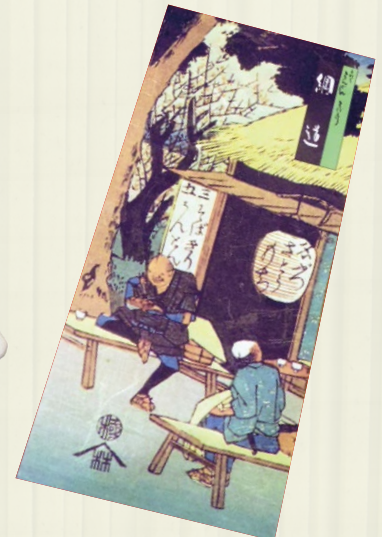
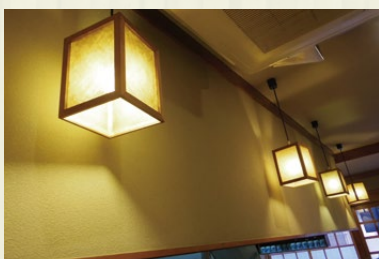


常連さんを魅了する、 変わらない美味しさをご堪能あれ!

今は店主と奥さんでお店をされているのですが、昔はアルバイトとして谷大生も働いていたそうです。その方は、今もお客さんとしてきているそうです! お客さんの要望に応じて裏メニューも提供され、20年や30年来のお付き合いのあるお客さんもいるそうです。なかにはフランスから日本へ来た際に、必ず立ち寄られる人もいらっしゃいます。くり返し足を運びたくなる変わらない美味しさにごだわりを持たれているんですね!



天ぶら定食





今回は、大谷大学学生会から集まった4名がお送りします。

四季をとおして美味しいものをいただけるお店をご紹介します！

写真左より

岡崎 藍・中田 創・北村 透・平本 紅把

谷大 Tamidai



創業40年

当時から変わらない20種類のメニュー！

店主自ら選ぶ食材はブランドにこだわらず、味や質にこだわり厳選しているとのこと。そのため季節の旬となる美味しい野菜やお肉をつかったメニューが沢山あります。具材へのこだわりだけではなく、麺も毎日手打ちをしているとか！

店主の愛情たっぷりのうどん・そばを食べに、一度訪れてみてはいかがでしょうか？



今回ご紹介したお店の情報はコチラ！



店名 手打ち うどん そばきり 綱道
住所 京都市北区小山北上総町39-2
交通 北大路駅5番出口から徒歩約2分
営業時間 11:00~20:00
営業日 金~日曜日



大谷大学教育後援会文芸奨励賞は、学生支援事業の一環として、本学の学生を対象に文芸作品を募集し、「言葉による表現欲を奨励すること」を目的に、2006年に創設された賞です。

2016年度は『未来への選択』というのがテーマでした。50字以内の自由表現で作品を募集いたしましたところ、159編の応募がありました。今回は、テーマに『未来』という言葉がつくこともあり、自身自身を中心とするよく似た内容の作品が多く見受けられました。そのため、選考も難航いたしました。そのなかより独自の発想力・表現力・音のアクセントなどを使用し、読む側に情景を想像させる作品と出会えたと思っております。応募された作品を拝見させていただきますと、皆さんしっかりと目標を持ち、前を見つめ、進まれているのだと感じさせられました。いつまでも覚束なげに思っているのは私たちだけかもしれませんね…。

文芸奨励賞は、文科の大学として大きな意義を持つものであります。今回応募されなかった皆様、今回惜しくも受賞を逃した皆様、今まで気づかなかった才能が発見できる良いチャンスになるかもしれません。今年度も、あなたの作品を心よりお待ちしております。

大谷大学教育後援会 会長 三村 智子



文芸奨励賞表彰式
2016年11月26日(土)

最優秀賞

文学部 第3学年 文学科

鎌足 拓馬 (カマタリ タクマ)

友達が言った。自分の前にあったレールが今はないと。しかし、私は思う。
ないのではなく広がったのだと。

優秀賞

文学部 第3学年 文学科

濱中 七海 (ハマナカ ナナミ)

例えば、写真を撮ること。
自分が信じた「今」を「明日」へ持っていく。
そう、思うこと。決意すること。

文学部 第2学年 文学科

井上 翔馬 (イノウエ ショウマ)

ゆうらありい
ゆうらありい
ゆうらありい
明日を迷わぬよう
いまを迷っておく

ゆうらありい
ゆうらありい
ゆうらありい
ゆうらありい
ゆうらありい
ゆうらありい

佳作

大学院 修士課程 第1学年 哲学専攻

上舞 一馬 (カミマイ カズマ)

「私の決めたことだから」と親に向かって
言えたとき、子どもは大人になるのだろう。

文学部 第1学年 真宗宗学科

船山 祥汰 (フナヤマ ショウタ)

日本人の
心を詠う
吟の道
次世代に
伝える

文学部 第4学年 教育心理学科

小林 さくら (コバヤシ サクラ)

子どもが すき
それだけじゃむずかしい
とわかった 4年間
だから すきじゃない と できない!
春から 先生

文学部 第4学年 教育心理学科

竹林 霞 (タケノカシ カスミ)

バンバンバン 先生が手をたたく。
これが静かになる合図。
来年からは私がならず。
パンパンパン。

文学部 第3学年 文学科

三橋 琴未 (ミハシ コトミ)

迷う私の背を押したのは、
昨日の私、過去の自分。

文学部 第2学年 教育心理学科

中村 美沙 (ナカムラ ミサ)

洗濯中、
明日の服を
選択中。

文学部 第1学年 社会学科

西村 勇紀 (ニシムラ ユウキ)

過去での自分の選択が、
今の自分を導いた。
なら、
これからの選択で、
未来をどこへといざなおう。

文学部 第1学年 歴史学科

福田 啓史 (フクダ ヒロシ)

自分の未来に
「選択」があるということほど
幸せなことはない。

文学部 第1学年 教育心理学科

天野 智行 (アマノ トモユキ)

一度きりの人生
堅実に生きると言う
一度きりの人生
だから冒険したくなる

文学部 第1学年 教育心理学科

直島 雪乃 (ナオシマ ユキノ)

みそ汁の具を選ぶように
今日着る服の色を選ぶように
ささやかな選択で笑顔になれる
それが私の幸せな未来。

※学生の学年は、入賞作品発表時のものです。

人事情報

執行部の交代

〔研究 国際交流担当副学長〕
加藤 丈雄
〔前研究 国際交流担当副学長 松川 節〕

〔入学センター長〕
中川 眞一
〔前入学センター長 大栗 一浩〕

2017年4月1日付(各通)

館長等の交代

〔真宗総合研究所長〕
加藤 丈雄
〔前真宗総合研究所長 松川 節〕

〔真宗総合研究所主事〕
松浦 典弘(再任)

〔学寮長〕
山田 恵文(再任)

2017年4月1日付(各通)

定年退職

〔教育職員〕
桂華 淳祥
〔教授/文学部/歴史学科〕

〔事務職員〕
岡崎 要
〔学生支援部〕

松原 文孝
〔学生支援部〕

〔技術職員〕
辻 敏明
〔総務部〕

2017年3月31日付(各通)

契約期間満了による退職

〔教育職員〕
池田 敬子
〔特別任用教授/文学部/文学科〕

池田 佳和
〔特別任用教授/文学部/人文情報学科〕

渡邊 拓也
〔任期制講師/文学部/社会学科〕

稲葉 維摩
〔任期制助教/文学部/仏教学科〕

関本 真乃
〔任期制助教/文学部/文学科〕

田鍋 良臣
〔任期制助教/文学部/哲学科〕

中山 量純
〔任期制助教/文学部/真宗学科〕

長谷川 雄高
〔任期制助教/文学部/歴史学科〕

渡邊 温子
〔任期制助教/文学部/国際文化学科〕

上田 祥子
〔事務系嘱託〕

北村 和香
〔総務部〕

鈴鹿 真知子
〔企画入試部〕

田中 基代
〔総務部〕

横田 絢子
〔総務部〕

稲岡 智子
〔自灯学寮〕

小和 慎平
〔真練学寮〕

戸次 顕彰
〔学習支援アドバイザー〕

岩田 政代
〔事務職員〕

田中 葵
〔総務部〕

依願退職

2017年3月31日付(各通)

新規採用

〔教育職員〕
國賀 由美子
〔教授/文学部/歴史学科〕

田中 正隆
〔准教授/文学部/社会学科〕

徳田 剛
〔准教授/文学部/社会学科〕

渡邊 拓也
〔准教授/文学部/社会学科〕

泉谷 瞬
〔任期制講師/文学部/文学科〕

岡部 茜
〔任期制講師/文学部/社会学科〕

東 真行
〔任期制助教/文学部/真宗学科〕

川口 淳
〔任期制助教/文学部/真宗学科〕

岸野 亮示
〔任期制助教/文学部/仏教学科〕

駒井 匠
〔任期制助教/文学部/歴史学科〕

塚島 真実
〔任期制助教/文学部/国際文化学科〕

根無 一行
〔任期制助教/文学部/哲学科〕

野澤 真樹
〔任期制助教/文学部/文学科〕

森 類臣
〔任期制助教/文学部/国際文化学科〕

木下 翔吾
〔総務部付〕

丸山 美穂
〔総務部付〕

山崎 友梨
〔総務部付〕

石川 淳
〔教育研究支援部〕

大伴 瑠弥
〔企画入試部〕

小林 郁恵
〔総務部〕

榊原 貴子
〔学生支援部〕

塩田 訓仁子
〔総務部〕

富士澤 香
〔総務部〕

横原 みちほ
〔総務部〕

水野 友絵
〔総務部〕

〔寮監〕
柏樹 貴弘
〔真練学寮〕

佐々木 えみ
〔自灯学寮〕

〔学習支援アドバイザー〕
渡邊 温子
〔PD研究員(真宗総合研究所東京分室)〕

稲葉 維摩

昇格

〔教授〕
田中 久美子
〔文学部/教育心理学科〕

富岡 量秀
〔短期大学部/幼児教育保育科〕

野村 明宏
〔文学部/社会学科〕

福島 栄寿
〔文学部/歴史学科〕

〔准教授〕
中野 加奈子
〔文学部/社会学科〕

西村 美紀
〔短期大学部/幼児教育保育科〕

山田 恵文
〔文学部/真宗学科〕

2017年4月1日付(各通)

2017年度学費について

本学では、学生納付金のうち文学部・短期大学の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用しています。2017年度の授業料のスライド率は、2016年度同様0.00%に据えおきます。また、大学の授業料については、スライド方式を採用していませんが、2016年度と同額とし、あわせて、教育施設改善のための施設費についても同様に据えおきます。

本学では、2011年に、10年後の「あるべき大画像」を見据えた「グランドデザイン（中長期計画）」を発表し、現在、その実現に向けて取り組んでいます。

本学の学びの特徴は「読み書き」の力を徹底的に鍛えることで、どのような進路を選ぼうとも、どのような時代に社会に身を置くことになるうとも、自分自身を支え、社会を主体的に生きることで、育成人物を育成したいと考えています。

現在、この「読み書き」をサポートするための取り組みや、新たな教育環境を整え、学生たちの教育研究の充実を図っています。

その主な取り組みとして、「学習支援室」を設置し、英語や日本語の読み書き能力の向上と大学での基礎的な学習を個別的に支援しています。ここには学習支援アドバイザーが常駐し、年間延べ2000名を超える学生の個別指導に当たっています。さらに、学習・研究活動の基盤となる「読み書き」のより高度な学習環境を提供するために「文藝塾」を設置し、著名な外部講師を招聘し、実践的な「読み書き」の力の向上に取り組んでいます。

また、地域の暮らしや魅力を知り、

地域の課題を解決する活動拠点として地域連携室「コミュ・ラボ」を開設しました。学生たちが地域に向き、さまざまな活動や団体との出会い・対話をおして、社会を生きるためのあらゆる力を養うための支援をしています。さらに、国際交流の拠点として「グローバル・スクエア（語学学習支援室）」を設置し、留学や外国語を学ぶこととおして、異文化への理解を深めるとともに、世界とのつながりのなかで、学生たちの成長を支援しています。

一方、施設面では、現在、キャンパス総合整備・新教室棟「慶間館」建築を進めており、2016年9月に慶間館中央・南エリアが竣工し、後期授業より使用を開始しました。慶間館1階は広大な学生ロビー「ミナイール・プラザ」を中心に、学生支援部事務室をはじめ、各学修支援室（学習支援室、文藝塾、グローバル・スクエア）などの多様な教育空間を実現します。2階以上は昨今の能動的な学習参加や少人数によるグループワークに対応できる教室やラーニング・コモンズという自由な発想で学習発表や課外学習を深めることのできるマルチスペースなどを配置し、学生の学びや活動を支援しています。さらに「ミナイール・プラザ」に「カフェ」を新設し、同時に「学内食堂」をリニューアルし、厚生施設の充実を図りました。

また、現在工事中の北エリアでは、慶間館4階と響流館3階を「ブリッジ」で接続し、学生の学習拠点となる「総合研究室」や「図書館・博物館」への利便性を高め、日々の学習から高度な専門研究まで幅広い学習・研究活動を支援して参ります。なお、これらの取り組みは、皆様の学費・施設費を充て

ています。

さて、学生納付金は1年分を「前期」と「後期」の2回に分けて、納入いただきます。前期学生納付金の納入期限は、4月20日（木）【後期は10月2日（月）】（銀行受付日付有効）です。振込依頼書は、保証人（学費負担者）宛に4月1日【後期は9月1日】に大学より発送しますので、納入期日までに納入してください。納入期日までに納入のない場合は、学則により除籍となりますのでご注意ください。

なお、振込依頼書が届かない場合や、

紛失・破損した場合には再発行いたしますので、財務課までお申し出ください。

また、事情により期日までに納入が困難と予測される場合には、学生支援課にて学費延納の手続きを4月20日（木）【後期は10月2日（月）】までに行ってください。学費延納の手続きには、「学費延納許可願」（所定用紙）および学費負担者の所得証明書（納税証明書・源泉徴収票など）が必要となります。ご注意ください。

2017年度学生納付金一覧		学 費		その他の費用				合計額		
		授業料	施設費	大谷学生会費	学生会費	教育後援会費	※同窓会入会金		※同窓会終身会費	
前 期	文学部	真宗、仏教、哲、社会、歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000		516,000	
		人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000		591,000	
		教育・心理学科	430,000	110,000	1,000	2,500	15,000		558,500	
	大学院	修士・博士後期課程（教育・心理学専攻除く）	240,000	100,000	1,000		15,000		356,000	
		修士課程（教育・心理学専攻）	240,000	110,000	1,000		15,000		366,000	
		短期大学部	仏教科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000		516,000
	幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000		526,000		
後 期	文学部	真宗、仏教、哲、社会、歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
		人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	626,000
		教育・心理学科	430,000	110,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	593,500
	大学院	修士・博士後期課程（教育・心理学専攻除く）	240,000	100,000	1,000		15,000	5,000	30,000	391,000
		修士課程（教育・心理学専攻）	240,000	110,000	1,000		15,000	5,000	30,000	401,000
		短期大学部	仏教科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000
	幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	561,000	

※文学部第4学年、短期大学部第2学年、大学院修士課程第2学年、大学院博士後期課程第3学年に本年度進級する場合は、後期学費納入時に同窓会入会金と同窓会終身会費の納入が必要です。なお、本学短期大学部・文学部を卒業、修士課程を修了したなど、過去に同窓会入会金・終身会費を納入されていれば不要です。

※休学をする場合は、在籍料として半期毎に60,000円（学部学科共通）の納入が必要です。納入期日は、4月20日（木）【後期は10月2日（月）】です（締切日厳守）。

※修業年限を超えての在籍者については、一定条件のもと授業料が減額されます。

→ 詳しい情報は… 大谷大学ホームページ

<http://www.otani.ac.jp/gakuhi17>

教育後援会だより

2016年度 教育後援会事業について(報告)

全国保護者懇談会開催

2016年9月24日(土)、本学を会場に「大谷大学教育後援会全国保護者懇談会」が開催され、全国から300名を超える保護者の皆様に参加されました。

大学現況報告(講堂)では、三村智子教育後援会会長の開会挨拶に始まり、木越康学長から本会開催の趣旨が説明されました。続いて、宮崎健司学監・副学長より「新たな学びのかたち」と題して、学習支援室や文藝塾、地域連携室コミュ・ラボ(祇園祭ごみゼロ大作戦、北区コミュニティラジオ)などの新たな取り組みの説明がありました。箕浦暁雄学生部長からは、学生が豊かに学ぶためのサポート体制や、心身のケア体制について伝えられ、学生支援部キャリアセンターからは、就職状況の現状報告や保護者と学生との連携の必要性について説明がなされました。

講堂での現況報告の後、2016年9月19日(月)に中央・南エリアがオープンした新教室棟「慶開館」へ会場を移して、個別相談会などが実施されました。個別相談では、学科別の「教員との個別懇談」の場が設けられ、保護者は学生の担当教員(指導教員)より、学生の授業中の様子などを熱心に聞いておられました。

また、模擬授業も実施され、参加者からは「久しぶりに授業に参加できて楽しかった」「学生がこのような授業を受けていることがわかり安心した」などの声をいただきました。

その他、「成績・進級」「学生生活」「学生相談員との面談」「進路・就職」「入試相談」「海外留学」の各コーナーが設けられ、多くの相談が寄せられました。

全国保護者懇談会は、出席者が年々増加しており、ご相談までにお時間をいただいた方もおられました。和やかな雰囲気の中、有意義な時間となりました。



慶開館
模擬授業の様子

九州地区保護者懇談会・ 大谷大学フェア(九州) 開催

2016年12月10日(土)、福岡市博多区において「九州地区保護者懇談会」が開催されました。懇談会では、学長ならびに学監・事務局長より大

学の教育目標・教育研究活動の現況について報告がなされ、学生支援部職員からは、履修状況の確認方法や、クラブ活動、奨学金制度などの学生生活のサポート体制について、さらに、近年の進路就職状況の傾向や支援体制についての説明が行われました。その後の個別相談では、学生の履修状況や就職活動状況などのデータをもとに、学生支援部職員が一人ひとりの相談に応じました。

また、今回は「大谷大学フェア(九州)」と銘打ち、保護者懇談会とあわせて、九州地区の同窓生や一般の皆様にもご出席いただき、公開講演会も実施されました。公開講演会には約120名の方々にご出席いただきました。

講演会の後に行われた懇親会においては、保護者や同窓生が楽しく懇談する姿が見られ、会の終盤には「博多一本締め」をご披露いただくなど、会場は大いに盛り上がりました。



九州地区保護者懇談会
個別相談の様子



大谷大学フェア(九州)
公開講演会の様子

恒常的な補助について

恒常的な補助として、2016年度も、課外活動団体への活動補助、筆記試験対策・面接実践講座など就職支援に対する補助、各種奨学金や奨励金の給付・貸与が行われました。

※その他の事業につきましては、8月発送予定の「教育後援会報告書」にてご報告いたします。

2017年度 教育後援会行事について(お知らせ)

2017年度は左記のとおり行事を開催する予定としております。

なお、全国保護者懇談会は、学生指導上、「履修単位通知書」の配付時期や、聴講登録修正期間等の学年暦を鑑み、決定しております。ぜひ、ご出席ください。よろしくお願いいたします。

信越地区保護者懇談会 ※
7月9日(日) ホテルJALシティ長野 (長野県長野市)
7月10日(月) ラマダホテル新潟(新潟県新潟市) <大谷大学フェア(信越)開催>
全国保護者懇談会
9月23日(土) 大谷大学
中国・四国地区保護者懇談会 ※
12月2日(土) 広島国際会議場(広島県広島市) <大谷大学フェア(中国・四国)開催>

※該当地区に在住の保証人へ案内
※大谷大学フェアでは、公開講演会、進学相談会を開催。

教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互ならびに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。なお、毎年、役員会・評議員会を開催してさまざまな事業を企画・推進しています。

→ 詳しい情報は… 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/kouyuu>

教育振興資金(募金)について

このたびは、教育振興資金局の募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。

今後引き続き、募金のお申し込みを受け付けておりますので、ご支援賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

なお、2016年7月1日から2017年1月31日までの間、ご寄付いただいた方々のご芳名は左記のとおりです。

厚く御礼申し上げます。

税法上の優遇措置について

本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)、ならびに税額控除にかかる証明(税額控除制度)を受けております。そのため、寄付者(個人)の選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。

大谷大学キャンパス総合整備・新教室棟建築資金(募金)について

現在進行しております、キャンパス総合整備・新教室棟建築にかかる募金につきましては、2017年2月に別途お送りいたしました募金趣意書をご確認ください。また、既にこの建築資金のためのご寄付をいただいた方へは厚く御礼申し上げます。建築資金としてご寄付いただいた方のお名前については、左記の「教育振興資金寄付者」一覧とは別に、別途名簿を作成する予定です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

教育振興資金寄付者 (敬称略)

【個人】

春國 文春 (岐阜県)

小野内 悦二郎 (京都府)

匿名 1名

【法人・団体】

同窓会 青森支部 (青森県)

宗教法人 了因寺 代表 吉岡 康裕 (千葉県)

◆ 件数 5件

◆ 寄付金総額 2,460,000円

お問い合わせ先

教育振興資金事務局 〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学総務部校友センター
TEL : 075-411-8124 FAX : 075-411-8157 E-mail : kouyuu@sec.otani.ac.jp

ムダにタネあり

みなさんは「最新」と「伝統」のどちらに興味をひかれるだろうか。大谷大学を例にすると最新の慶聞館と伝統的な尋源館のどちらが好きか。学生に聞いてみると「慶聞館の方が好み」という意見が圧倒的であった。私自身、10年前なら間違いなく慶聞館が好みであっただろうが、今現在は「どちらも良い」という一見中途半端な答えになる。日常（業務）はキレイで便利な方が良いが、非日常（休憩や休暇）は伝統を感じながら落ち着きたい。具体的に言えば、講義やゼミで使用するなら最新設備が整った慶聞館が、休憩時間にゆっくりコーヒーを飲みながら眺めるには尋源館の方が良いということになる。

ここで10年前と現在の自分を比べてみたい。昔の私は「伝統＝古い」と考えていたが、現在は「伝統＝魅力的」と考えるようになった。これは、長きにわたって多くの人々に受け入れられ、受け継がれてきた「伝統の魅力」に気づけるようになったという意味で自身の成長の証だと感じている。このような「気づき」や「成長」を提供してくれるものが経験であろう。

経験のきっかけとなるのが「出会い」だ。出会いとは人との出会いだけではない。たまたま受けた講義、たまたま手に取った本、たまたま立ち寄ったショップなども重要な出会いである。「人」や「たまたま」との出会いを数多く積み、それらを有意義なものにできるとすれば、みなさんの人生においてかけがえのない経験となるであろう。20歳前後は多様な経験を積むことができるとても大切に素晴らしい時期であるが、この時期はそう長くは続かない。大学・バイト・家の繰り返しで変化のない毎日を通り過ぎてはもったいない。効率や楽ばかりを考えるのではなく、一見ムダと思えても多くの出会いを求めて活動し、たくさんの経験を積むことを期待したい。この「ムダ」のなかに成長や充実につながる「タネ」があるはずである。



社会科学
講師
鎌谷 勇宏
専門分野 / 社会福祉学（社会保障論）

時代を照らす仏教のことば

二度とない人生だから
つゆぐさのつゆにも
めぐりあいのふしぎを思い
足をとどめてみつめてゆこう

坂村真民「二度とない人生だから」
〔自選〕坂村真民詩集 大東出版社 194頁

編集後記

今回の巻頭対談に参加いただいた卒業生の方は、自らの経験をともに社会を見つめ、人を見つめ、地域を見つめ、仲間と共にNPOを立ち上げました。右も左もわからない状態からとりあえずやってみようと突き進んだそうです。同じ考えを持つ仲間、尊敬する人との出会い、地域との出会い、ものとの出会い。在学生の皆さんにもそんな出会いを大切に、学生生活を送ってほしいと思います。

（編集担当）